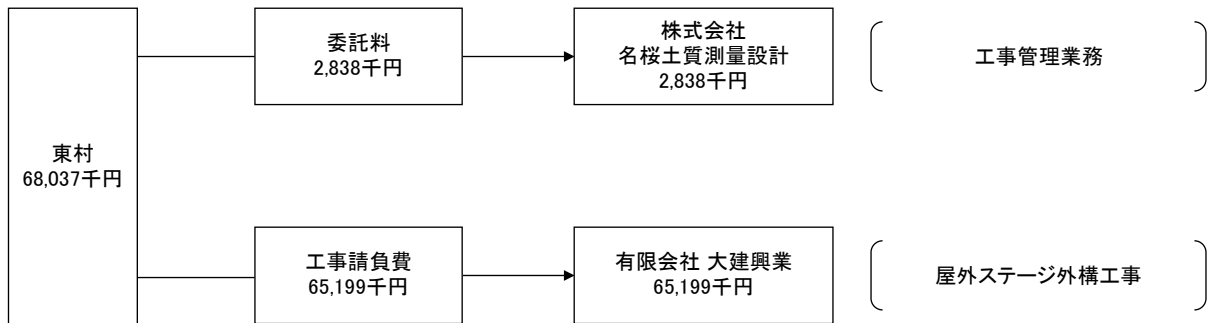


市町村名		東村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ	
	担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成27～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特性を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村の主要観光施設である「東村村民の森つつじ園」のさらなる利便性向上のため、「東村村民の森基本計画」に基づき、園内施設の機能強化整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
		(a)当初予算額	70,000	12,474	73,000	—	70,000
	(b)予算現額	64,357	12,657	66,418	—	68,037	
	(c)増減額(b-a)	▲5,643	183	▲6,582	—	▲1,963	
	(d)繰越額	—	—	—	27,835	—	
	A.計(b+d)	64,357	12,657	66,418	27,835	68,037	
	B.執行済額	64,357	12,657	38,583	27,835	64,303	
	うち交付金充当額	51,485	10,126	30,866	21,564	51,442	
	次年度繰越額	—	—	27,835	—	—	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	58.1%	100.0%	94.5%	
予算の状況の説明	計画していた事業内容を実施し、順調に執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	屋外ステージ外構工事の実施	目標	(観覧施設実施設計作成完了)	(観覧施設整備完了)	(外構工事の実施)	()	
		実績	観覧施設実施設計作成完了	観覧施設整備完了	外構工事の実施		
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	東村村民の森つつじ園の機能強化を図るため、屋外ステージ外構工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	屋外ステージの建築工事の完了	目標	()	(観覧施設実施設計作成完了)	(観覧施設整備完了)	(外構工事の完了)	()
		実績		観覧施設実施設計作成完了	観覧施設整備完了	外構工事の完了	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	(118,000人)
	年間利用者数 118,000人以上	実績					
進捗状況説明	計画どおり東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業:屋外ステージ(外構)が完成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	綿密な打合せや現場確認を行い、現場の状況と、それにより生じる支障について検討を行い、利用者が快適且つ安全に施設を利用できるよう留意した。 コロナ感染症防止の観点から、マスクの着用、こまめに手指消毒を徹底するよう指導を行った。	施設の機能強化に伴い利用者が快適な滞在時間を過ごすことができる。 今後は利用者のニーズに対応したサービスの提供が必要と考える。 また、コロナ感染症については、国、県より示されるガイドライン等を参考に適時情報をアップデートし、事業を展開することが必要である。
今後の取り組み方針		
<p>・当該施設は本村の一大イベントであるつつじ祭りの開催場所であるため計画的な事業を展開する。また、祭り開催中の施設利用者の満足度、安全性の向上に繋げるためアンケート等調査等を行い、また、コロナ感染症については、社会情勢や国及び県から示されるガイドラインに沿って事業を展開し安全安心な利活用を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付金充当額	
68,037	64,302	51,442	12,860	3,735



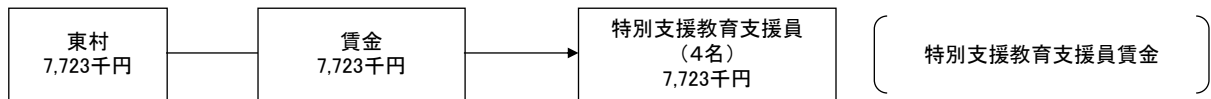
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額もなく適正であったと考えている。 ○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア			
担当部署名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成27年度～ 令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成		
事業内容	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒に対し、円滑な学校生活を送れるように在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の 状況	(a)当初予算額	10,666	14,502	14,667	10,786	10,224
		(b)予算現額	7,991	11,088	7,829	9,888	7,723
		(c)増減額(b-a)	▲2,675	▲3,414	▲6,838	▲898	▲2,501
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)	7,991	11,088	7,829	9,888	7,723	
	B.執行済額	7,991	10,813	7,400	6,651	5,550	
	うち交付金充当額	6,393	8,651	5,920	5,321	4,440	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.5%	94.5%	67.3%	71.9%	
予算の状況の説明	当初の計画では、小学校へ2名、中学校へ3名配置を予定していたが、実績では、小学校へ2名、中学校へ2名の配置1名減(配置見直し)。また、「東村会計年度任用職員の給与に関する規則」による報酬月給の修正により報酬(1,799千円)の減額。コロナウィルス感染症対策による休校期間があり、当初計画では3月末の事業完了を予定していたが、2月末での事業完了としたため、執行率が減少した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	小学校へ2名、中学校へ3名の特別支援教育支援員を配置する		目標 (小学校5名配置 中学校3名配置)	(小学校4名配置 中学校3名配置 幼稚園1名配置)	(小学校3名配置 中学校3名配置)	(小学校2名配置 中学校3名配置)	
			実績 小学校4名配置 中学校3名配置	小学校4名配置 中学校3名配置 幼稚園1名配置	小学校2名配置 中学校3名配置	小学校2名配置 中学校2名配置	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	当初は小学校へ2名・中学校へ各3名、計5名(12ヶ月)の特別支援教育支援員配置を予定していたが、中学校において配置見直し等を行い中学校への配置人員を1名減とし、小学校へ2名、中学校へ2名を配置した。また、3月にコロナウィルス感染症対策による休校期間があったため、事業完了を2月末までの11ヶ月とした。 特別支援教育支援員と教職員が連携を図り、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行うことにより、適切な学習環境の保持ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)
	支援員に対する満足度(80%以上)		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	80%	100%	100%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	支援対象児童生徒の保護者(5名)に対しアンケートを実施、4名からの回答を得た(回収率80%)。特別支援教育支援員の対応に満足しているかの問いに対し、「とても満足75%」「満足している25%」の回答が得られた。また、「支援員の支援を受けてお子さんに変化はありましたか」との問いに「変化があった」との回答が全ての保護者よりあった。 保護者からは「支援員と情報共有することにより、学校での学習の様子なども把握することができ満足している。」等、支援を受けることにより学習意欲に繋げることができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>特別支援教育支援員による授業中のサポート、見守り支援、個別での課題(家庭学習)作成、放課後の補講などにより支援員配置の満足度は達成できた。</p> <p>しかし、対象保護者が少人数でありながらアンケートの回収率が100%を達成できていないため、事業の周知徹底を図り、保護者からの声を支援員(学校)と共有することにより、より一層事業の推進に繋げる必要がある。また、支援員間の情報交換及びスキルアップを図ることを目的として支援員対象の研修会内容の拡充、指導主事による授業参観を行い、指導助言を行った。</p>	<p>支援を要する幼児児童生徒一人ひとりに合った支援体制を構築していくため、臨床心理士による巡回相談のあり方を見直し、巡回後の学級担任・特別支援教育コーディネーター等との面談・情報提供を行う。</p> <p>特別支援教育支援員研修会を今後も継続し、資質向上を図るとともに、臨床心理士・指導主事からのアドバイス・情報提供を活用する。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>臨床心理士や指導主事からの個別の支援アドバイス等を学校・特別支援教育支援員へ情報提供し、支援方法の共有を図る。</p> <p>教職員、特別支援教育支援員、指導主事等や保護者間で随時情報交換を行い、個々の状況を把握しながら支援の必要な幼児児童生徒に適正な支援を行えるよう、体制強化に努める。</p> <p>アンケートの内容・周知方法等を見直し、回収率の向上及び成果目標の検証に役立てる。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
7,723	5,550	4,440	1,110	2,173



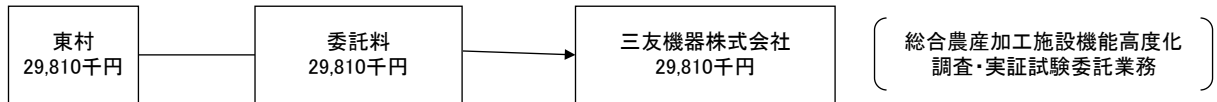
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、支援員は応募者を面接により選定し、「東村嘱託員に関する規定」に基づき任用しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模において、予算範囲内で執行できており、事業内容に見合った適正な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、支出等に関する書類により確認、適正である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	東村総合農産加工施設機能高度化実証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・加工・販売対策の強化 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	<p>パイナップル缶詰工場(東村総合農産加工施設)の慢性的な人員不足の解消及び歩留まり向上を図るため、現在手作業で行っているパイナップルの芽取り作業の自動化及び機械化することを目的に芽取り機械の製造、検証試験を行う。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	(a) 当初予算額	29,920				
		(b) 予算現額	29,810				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 110				
		(d) 繰越額	-				
		A. 計(b+d)	29,810				
	B. 執行済額	29,810					
	うち交付金充当額	29,810					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	予算は、事業計画どおり執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	パイナップル芽取り機の開発及び検証試験の実施	目標	(開発・検証)	()	()	()	
		実績	開発・検証				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	パイナップルの芽と類似するジャガイモ芽取り機械の調査を行い、パイナップル芽取り機械の試験機を開発製造した。また、開発した芽取り機械で検証試験を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	芽取り機導入計画の策定完了 芽取り機試験機の製造完了 芽取り機テスト検証試験の完了	目標	()	(計画策定完了 製造完了 検証試験完了)	()	()	()
		実績		(計画策定完了 製造完了 検証試験完了)			
	【参考指標】 パイナップル缶詰 年間製造量 41,400ケース 年間歩留まり率 18%	目標	()	()	()	()	41,400 ケース 18%
		実績					
進捗状況説明	当初、ジャガイモ芽取り機械をパイナップルで使用できるようにジャガイモ芽取り機械メーカーと共同開発する計画であったが、改良の協力が得られなかったため、受注者が独自で開発を試み、試験機製造、検証試験を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○芽取りノズルの改良 刃のみの芽取りノズルでは、芽がしっかりと取り除くことができない。</p> <p>○パインアップルの外径寸法違いによる誤検知 パインアップルの剥皮加工を行うカット刃の寸法を変更した場合、カメラとパインアップルの距離が変わるため、芽の誤検知や検出漏れが発生する恐れがある。</p> <p>○パインアップル芯位置のズレによる誤検知 パインアップルの芯位置がズレることにより回転奇跡が楕円となり撮影距離が変わり、芽の誤検知及び検出漏れが発生する恐れがある。</p>	<p>○芽取りノズルの改良 刃のみではなく、座グリドリルを単管パイプで覆う構造とすることで芽がしっかりと除去できるようにする。</p> <p>○パインアップルの外径寸法違いによる誤検知対策 パインアップルの剥皮加工を行うカット機の刃径寸法を変更する際に、芽取り機械の設定値(プログラム)を変更することで誤差の低減を図る。</p> <p>○パインアップル芯位置ズレの誤検知対策 芯位置を判断するカメラを取付け、芯位置ズレを解析し、解析した位置座標にロボットハンドのシャフト部分を移動させ、パインアップルの外径部回転軸とロボットハンドの回転軸を一致させる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>令和2年度に製作した試験機を、令和3年度にパインアップル缶詰工場(東村総合農産加工施設)に設置し、連続運転での影響や芽取り機械の精度を確認する。これらの結果を踏まえ令和3年度に導入の可否を判断する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
29,810	29,810	23,848	5,962	0



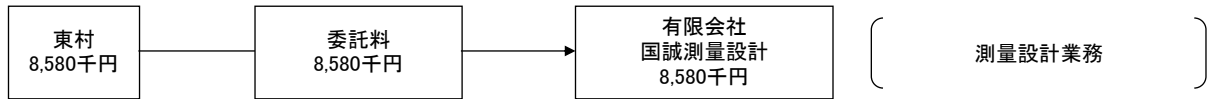
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は、業者から見積もりを徴収して積算しており、適正な規模であった。</p> <p>○費目・用途については完了時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	ハブ咬傷対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	令和2~3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村の主要観光施設である村民の森つつじ園・エコパークの利用者や観光客の咬傷被害防止のため施設へ防蛇フェンスを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,000				
		(b)予算現額	8,580				
		(c)増減額(b-a)	▲420				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	8,580				
	B.執行済額		8,580				
	うち交付金充当額		6,864				
	次年度繰越額		—				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画していた事業内容を実施し、順調に執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	測量調査及び設計の実施	目標	()	(実施設計作成完了)	()	()	
		実績		実施設計作成完了			
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	村民の森つつじ園利用者及び管理者の咬傷被害防止のため施設へ防蛇フェンスを設置するための測量調査及び設計を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	測量調査及び設計の完了	目標	()	()	(測量調査設計完了)	()	()
		実績			測量調査設計完了		
	【R4指標】 ハブ咬傷件数	目標	()	()	()	()	(0件)
		実績					
進捗状況説明	計画どおり防蛇フェンスを設置するための測量調査及び設計が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	綿密な打合せや現場確認を行い、現場の状況と、それにより生じる支障について検討を行い、利用者が快適且つ安全に施設を利用できるよう留意した。	ハブ咬傷防止のための防蛇フェンス設置に伴い利用者が安心、快適に滞在時間を過ごすことができるよう、早期に工事の発注を行うなど、計画通りに事業を進められるよう適切な工程管理に努める。
今後の取り組み方針		
・令和3年度は、防蛇フェンスの設置工事を実施する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,580	8,580	6,864	1,716	0



資金の流 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額もなく適正であったと考えている。 ○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	